

第3学年3組 防災教育活動案

3年3組教室 指導者 塩谷久美子

1 単元 ぼくら地震防災プロジェクト

2 目標

- (1) 地震防災への関心を持ち、防災への意識を高めることができる。
- (2) 大地震から身を守るために、どんなことをしたらよいかを調べたり、話し合ったりすることができる。
- (3) 地震防災に対する自分の考えを持ち、その考えを発表したり広めたりすることができる。
- (4) 地震防災に関する資料・体験をもとに、地震についての学びを深めることができる。

3 単元にかける願い

3年生の子どもたちは、昨年の防災教育で阪神大震災体験者の話を聞いたり、親子で地震防災フェスタに参加したりした。フェスタでは、ナマズ号で大地震の揺れを体感したり、非常食ご飯を湯でもどして食べたりとじしんに関わる体験ができた。こうしたことから、防災への関心が芽生えてはいるが、実際の地震の経験は浅く、学校の地震想定避難訓練でも、緊張感が不足がちであった。

いつ起きても不思議ではないと言われている東海地震に備え、防災への意識や関心を高め、発達段階を考慮した防災教育を行うことは、大変重要なことである。ただ、防災という知識を得るのではなく、地震防災における対応能力の向上を図ることが大切だと考える。

大地震から身を守るためにはどうしたらよいかという問いかけを一人ひとりの意識の中に持たせ、わたしたちが生活している場所を中心に、具体的に調べていくようにしたい。地震が起きた時、自分の家では危険な場所はどこか、学校ではどうか、また役に立つものは何かなどを調べる。さらに、通学路や学校のまわりはどうかと調べることによって、対応能力を身につけさせたい。

4 学習計画（10時間完了）

- (1) 自分の家の地震への備えを調べよう。・・・・・・・・・・・・・・・・（1時間）
 - ・非常持ち出し袋、物の置き方
- (2) 西尾市の備えを調べよう。・・・・・・・・・・・・・・・・（1時間）
 - ・西尾市防災倉庫見学
- (3) 地震時に危険な場所や役立つ物を調べよう。・・・・・・・・（3時間）本時2／3
 - ・自分の家の危険な場所、役に立つもの
 - ・学校の危険な場所、役に立つもの
 - ・学校のまわりや通学路の危険な場所、役に立つもの
- (4) 防災フェスタで防災施設を探したりいろいろな体験をしたりしよう。・・（4時間）
 - ・防災ウォークラリー
 - ・実地体験
- (5) 学習した地震防災について作文を書いてまとめよう。・・・・・・・・（1時間）

5 本時の学習

(1) 目標

- ・地震時における校内の危険な場所や役に立つものを調べ、発表し話し合うこと通して防災への意識を高めることができる。

(2) 準備

- ・教師 校地の大きな地図、学校平面図、感想プリント
- ・児童 調べたプリント（学校平面図）

(3)

時間	児童の活動	教師の手立て
(分)	地震の時、学校の中であぶないところはどこだろう。 役に立つものは何だろう。	
20	1 学校で危険だと思う物や場所について発表し合う。 ・教室でテレビが落ちてくる。 ・教室でそうじ道具入れや戸棚がたおれる。 ・階段で転びやすい。 ・昇降口でガラスが割れる。 ・踊り場のケースがたおれる。 ・運動場のバスケットゴールやサッカーゴールがあぶない。	・どこの何がどのように危ないのか、具体的にいえるようにする。 ・発表し合ったことを地図に書き加えてわかりやすくする。短い言葉を沿えるようにアドバイスする。 ・自分が気づかなかった意見をよく聞くようにさせる。 ・ゴールや遊具など、倒れないように固定してあることに気付かせる。
20	2 地震時に役立つ物を考える。 ・避難訓練の時いつも運動場に集まる。 ・体育館のピアノがとめてある。 ・シューズが役立つ。 ・理科室と音楽室に救助袋がある。 ・消火器が役に立つ。	・どうして運動場避難するのか考え、物がない広い場所の安全性について気付くようにする。 ・足や頭を保護する物があるとよいことを確認する。 ・救助袋や消火器はどういう時に使うのか知る。
5	3 本時の学習のまとめをする。	・話し合いでわかったことや感想を書くようにする。

(4) 評価

- ・地震の際、学校ではどんなことが危険か、また、どんな物が役に立つかとらえ、防災への意識を高めることができたか。（発表の様子・感想プリント）